

期 中 の 評 価 個 表

整理番号	5
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	長野県
事業実施地区名	長久保 (ながくぼ)	事業計画期間	平成20年度～平成34年度(15年間)
関係市町村名	安曇野市	事業実施主体	長野県
事業の概要・目的	<p>本地区は安曇野市明科の長久保地区に位置しており、地質は砂質泥岩等で構成された青木層による脆弱な地域である。</p> <p>平成19年5月9日に大規模な地すべり災害(長さ250m、幅200m)が発生したが、その直下に人家96戸、国道1,000m、一級河川潮沢川があり、土石流災害が懸念された。</p> <p>このため平成19年度災害関連緊急地すべり防止事業を実施後、平成20年度から地すべり防止事業による対策工事に着手した。</p> <p>また、平成22、27年の地すべり再活動により、集水井工・アンカー工の数量を増やし、事業期間を延長するなどの全体計画の見直しを行った。</p> <p>・主な事業内容：排土工16,750m³、集水井工9基、アンカー工147本 ・総事業費：1,622,896千円 (H19事業採択時点：950,000千円)</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の費用対効果分析における主な効果は、山地災害防止便益であり、排土工、集水井工、アンカー工等を施工し、地すべりにより被災を受ける恐れがあった集落・国道・農地を山地災害から保全する効果である。</p> <p>なお、上記の全体計画の変更に伴い総事業費が増加し、採択時に比べ総便益、総費用の増となり、分析結果の減となった。</p> <p>総便益(B) 3,980,520千円 (H19採択時点：2,755,000千円) 総費用(C) 1,895,407千円 (H19採択時点：950,000千円) 分析結果(B/C) 2.10 (H19採択時点：2.90)</p>		
② 森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>集水井工、排土工及びアンカー工等の対策工により、順調に地すべりブロックの安定が保たれてきている。</p> <p>集落、農地の保全、国道の通行の安全が確保される等、事業効果が順調に発現している。</p> <p>なお人家、施設等に特段の変化は見られない。</p> <p>・主な保全対象 人家96戸、国道1,000m</p>		
③ 事業の進捗状況	<p>地すべり土塊が潮沢川支流の小芹沢対岸まで押し出し、一時河川が閉塞したことから、平成19年度に災害関連緊急地すべり防止事業で暗渠ボーリング工を実施後、平成20年度から集水井工、排土工及びアンカー工等の地すべり防止対策工事を実施しており、集水井工及び排土工については既に完了した。</p> <p>現時点では、これまでの対策工事により地すべり活動に伴う大きな変位は観測されていない。</p> <p>現在はアンカー工を施工しており、平成29年度末の進捗率は66%となる見込みである。</p>		
④ 関連事業の整備状況	<p>関連事業は特にない。</p>		

⑤ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向	保全対象となる潮沢区・木戸区には多くの住民が生活しており、地すべりの活動に備え、監視機器の設置や避難訓練を実施する等警戒体制を構築し運用している。地域住民は地すべりへの関心も強く、対策工事の早期完成を強く望んでいる。
⑥ 事業コスト削減等の可能性	平成27年6月の拡大崩壊後、アンカー工及び排土工の再設計を行った。 これまでに実施した暗渠ボーリング工の集水による地下水の低下を確認し、安定解析による評価をすることで、追加工事を予定していた暗渠ボーリング工を一部取りやめる等、コスト削減に取り組んでいる。
⑦ 代替案の実現可能性	地すべり防止計画の実施にあたり、安定解析の結果により、最も効果的な工法を採用しており、代替案はない。
評価結果及び事業の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地すべり下方の本体ブロックはこれまでの対策工事により沈静化しているが、上部ブロックでは活動が見られる。当該ブロックの活発化が本体ブロックに影響を与えると考えるため、早期安定を図る必要がある。 ・効率性： 地すべり対策工法の検討にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト削減に努めていることから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 地すべりブロックの活動が安定することにより、直下の人家及び国道等の保全が図られることから、民生の安定や通行の安全が確保され、今後も事業効果の発現が見込まれることから、有効性が認められる。 ・事業の実施方針： 事業の実施にあたっては、効率化を図るとともに、景観と環境の保全等にも十分に配慮しつつ、早期概成に向けて継続して取り組むこととする。

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：地すべり防止事業
施行箇所：安曇野市 長久保

都道府県名：長野
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	3,980,520	
総 便 益 (B)		3,980,520	
総 費 用 (C)		1,895,407	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,980,520}{1,895,407} = 2.10$		

評価箇所概要図

整理番号	5
------	---

長野県

